

## 松 蔭 学 園 の 財 政 状 況

5月末に開催の理事会・評議員会において「令和4年度決算」が承認されました。

令和4年度は、少子化の時代にあって、安定した学生生徒数を確保する施策として、教育の活性化、質的向上と受入体制の構築のための環境強化、整備を行いました。

令和4年度の財政状況は、収入面では、学納金関連収入は、前年比若干の減少となりましたが、その他の収入は増加となりました。

支出面では、人件費については、前年比減少となりましたが、図書等の充実を図ったことによる支出や教育環境を整えるための機器備品の購入、世田谷キャンパスプール廻りの改修工事、新型コロナウイルス感染症対策に必要な保健衛生用品、備品に関する支出、その他構内の安全対策のための補修、老朽化設備の改善等必要不可欠な支出に重点配分しました。その結果、全体での収支差額は、若干のプラスとなりました。

財務体質の健全性の目安となる、事業活動当年度収支差額は、約31百万円の支出超過となりましたが、その中に含まれています基本金組入額約432百万円は、世田谷キャンパス10号館と14号館（仮称）新築工事の契約金、3号館1階の教室への改修工事、大学2号館、6号館の空調設備更新工事、大学院看護学研究科開設に伴う教育機器備品、図書の購入等、固定資産増加に要したものです。

資金繰り上の次年度繰越支払資金も十分確保されており、財政状況は、問題なく健全な財政を維持している状況です。

近年、私学を取巻く環境はますます厳しさを増しています。このような環境の下ではありますが、学園は、令和5年度も支出の効率的節減を図りながら、安定した事業活動収入の拡大に努め、より一層の財政基盤の充実と強化を図っていきます。

なお、令和4年度決算の概要を掲載しましたのでご参照下さい。

# 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日～令和5年3月31日

## I 法人の概要

### (1) 建学の精神

松蔭学園は、昭和16年松浦昇平先生によって創立されました。先生は敬愛した吉田松陰先生の教えである「知行合一」を教育理念とし、学園の校是としました。「知行合一」とは、学んで得た知識を行動に生かし、また行動することでさらにその知識を体得していく事です。

本学は創立以来、この建学の精神に則り、学ぶこと、体験することを通じて、人間性を磨き、知識を実践で生かすことのできる教育に携わってきました。

21世紀の国際社会では、グローバル化の進展に伴い、異なる文化的背景をもつ人々が出会い、結びつき、共に生きる機会が拡大し、国境を越えた相互理解が必要です。

本学では、この根底に必要な「他者を思いやる心（ホスピタリティ）」を基盤とし、学習や体験を通じて、文化や言葉などの多様性を認め、人々を尊重しながら、世界で活躍できる、ビジネス、コミュニケーション、観光・情報・看護のプロフェッショナルの育成をめざします。

### (2) 法人の沿革

昭和16年4月	松蔭女学校創立（「知行合一」を教育理念とし、校是とする）
昭和23年4月	松蔭中学・高等学校と改称し同年に松蔭幼稚園を開園
昭和24年4月	松蔭女子専門学院開校（平成26年3月閉学）
昭和60年4月	松蔭女子短期大学（英語科・経営科）開学（平成13年3月閉学）
平成12年4月	松蔭女子大学（経営文化学部）開学
平成16年4月	松蔭大学（経営文化学部・異文化コミュニケーション学部）に改称（共学）
平成17年4月	松蔭中学・高等学校（共学）
平成18年4月	松蔭大学大学院（経営管理研究科）開設
平成21年4月	松蔭大学（観光文化学部）開設・厚木ステーションキャンパス開校
平成24年4月	松蔭大学（コミュニケーション文化学部）学部名称変更と2学科増設開校
平成25年4月	松蔭大学（観光文化学部）学部名称変更（観光メディア文化学部）と3学科増設開校
平成27年4月	松蔭大学（看護学部）看護学科開設
平成29年4月	松蔭大学（コミュニケーション文化学部）子ども学科開設
令和2年4月	松蔭大学経営文化学部金融経済学科学生募集停止
令和3年4月	松蔭中学校を松蔭大学附属松蔭中学校に、松蔭高等学校を松蔭大学附属松蔭高等学校に名称変更
令和4年10月	松蔭大学大学院（看護学研究科）設置認可
令和5年3月	松蔭大学（経営文化学部）金融経済学科廃止

### (3) 設置する学校・学部・学科及び入学定員数

学 校 名	学 部 名	学 科 名	入学定員数
松 蔭 大 学	大 学 院	経 営 管 理 研 究 科	10
		ヒューマンマネジメント学科	72
	経 営 文 化 学 部	経 営 法 学 科	72
		金 融 経 済 学 科	—
		異文化コミュニケーション学科	48
	コミュニケーション文化学部	生 活 心 理 学 科	48
		日本文化コミュニケーション学科	48
		子 ども 学 科	48
		観 光 文 化 学 科	48
	観 光 メ デ ィ ア 文 化 学 部	メ デ ィ ア 情 報 文 化 学 科	48
		看 護 学 部	看 護 学 科
松蔭大学附属松蔭高等学校	全 日 制 課 程 ・ 普 通 科		360
松蔭大学附属松蔭中学校			—
松 蔭 幼 稚 園			175

(4) 役員・教職員の概要

理事、監事及び評議員

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	松浦 正晃	評議員	松浦 正晃
理事	柳澤 史子	評議員	松浦 郁子
理事	安永 和光	評議員	白川 満伸
理事	近藤 昌義	評議員	川下 進
理事	白川 満伸	評議員	松浦 史門
理事	岩間 啓子	評議員	岩本 伸子
理事	松浦 広明	評議員	簗羽 幸子
監事	池本 正孝	評議員	柳澤 史子
監事	小林 裕和	評議員	岩間 啓子
		評議員	安永 和光
		評議員	近藤 昌義
		評議員	渡辺 昌紀
		評議員	桑原 常明
		評議員	橋本 晃明
		評議員	野島 昭昌

教職員	専任教員	138名
	職員	51名
	非常勤講師	46名

II 事業の概況

令和4年度は、少子化の時代にあつて、安定した学生生徒数を確保する施策として、教育の活性化、質的向上と受入体制の構築のための環境強化、整備を行いました。大学進学率の増加や各教員の努力、広報活動の強化を踏まえて、学生募集は引き続き良好な結果となりました。また、大学においては大学院看護学研究科開設の認可を得、令和5年4月に開設します。今後の主要な事業となる中高校舎の建替工事については、10号館と14号館の新築工事の契約を締結しました。

(1) 教育環境の強化

大学においては、大学院と看護学部、コミュニケーション文化学部子ども学科開設により、学部学科の増設による教育環境も充実し、学生ニーズ多様化に対応し、入学希望者の選択肢拡大に努めるとともに、既存学部と新設します看護学研究科の機器備品、図書等の充実に努めました。また、教育環境の向上を図るため、無線LANの構築工事を行いました。

世田谷キャンパスにおいては、プール廻りの改修工事や作法室の改修工事を行いました。

湘南キャンパスにおいては、野球場の防球ネットの改修工事を行いました。

(2) 学生支援活動の強化・活性化

① 就職状況は、コロナ禍の影響が落ち着いてきたこともあり、企業の採用意欲も高まり雇用環境はコロナ禍前の水準に近いところまで回復しました。

そうした中、従来同様にきめ細かな就職指導、求人先の開拓等を推進してきた結果、就職希望者の内定率は100%に近い良好な結果となりました。

② 学生・生徒の個性、独自性を更に高めるため、校外教育・課外活動充実のために、教育活動の充実、安全対策等を重点的に行い施設を整備しました。

(3) 施設整備関連

① 現有施設設備の所在地

名称	所在地
下北沢キャンパス	東京都世田谷区北沢1-16-10
厚木森の里キャンパス	神奈川県厚木市森の里若宮9-1
厚木ステーションキャンパス	神奈川県厚木市中町4-3-1
学生寮愛名松蔭会館	神奈川県厚木市愛名字遠矢塚1009-3
湘南キャンパス	神奈川県平塚市大神3489-1
北沢ステーションキャンパス	東京都世田谷区北沢1-22-18
軽井沢山荘	長野県北佐久郡軽井沢町鳥井原2660

② 主な施設設備の取得等

新型コロナウイルスの感染から学生生徒園児を守り、安定的に教育活動を推進していくため、保健衛生用品、備品の購入に努めました。

また、安全対策のための補修、設備の改善、機器備品の買換え等の必要不可欠のものとして、図書等の充実に努めました。大学においては、厚木森の里キャンパス2号館と6号館の空調設備の更新工事やサーバー機器の入れ替え工事を行いました。

下北沢キャンパスにおいては、3号館1階の教室への改修工事や3号館の排水管更新工事を行いました。

また、3号館、体育館、図書館のLED照明の交換工事を行いました。

### III 財務の概況

#### 貸借対照表

令和5年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	16,756,994,080	16,282,673,159	474,320,921
(1) 有形固定資産	12,775,934,066	12,566,912,564	209,021,502
土地	8,616,145,400	8,616,145,400	0
建物	2,982,272,414	3,091,775,937	△ 109,503,523
その他の有形固定資産	1,177,516,252	858,991,227	318,525,025
(2) 特定資産	2,235,000,000	2,335,000,000	△ 100,000,000
(3) その他の固定資産	1,746,060,014	1,380,760,595	365,299,419
流動資産	6,680,277,963	6,925,614,463	△ 245,336,500
現金預金	5,576,587,665	5,751,711,863	△ 175,124,198
その他の流動資産	1,103,690,298	1,173,902,600	△ 70,212,302
資産の部の合計	23,437,272,043	23,208,287,622	228,984,421
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	158,922,571	174,377,929	△ 15,455,358
流動負債	419,662,956	575,946,982	△ 156,284,026
負債の部の合計	578,585,527	750,324,911	△ 171,739,384
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	23,793,543,729	23,461,448,349	332,095,380
第1号基本金	21,471,543,729	21,039,448,349	432,095,380
第2号基本金	2,200,000,000	2,300,000,000	△ 100,000,000
第4号基本金	122,000,000	122,000,000	0
繰越収支差額	△ 934,857,213	△ 1,003,485,638	68,628,425
翌年度繰越収支差額	△ 934,857,213	△ 1,003,485,638	68,628,425
純資産の部合計	22,858,686,516	22,457,962,711	400,723,805
負債及び純資産の部合計	23,437,272,043	23,208,287,622	228,984,421

注記：貸借対照表は、学校法人会計基準の様式に基づく表示区分としています。

## 資 金 収 支 計 算 書

令和4年4月1日から  
令和5年3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,649,210,000	1,604,374,800	44,835,200
手数料収入	25,400,000	18,093,844	7,306,156
寄附金収入	1,010,000	1,065,000	△ 55,000
補助金収入	243,040,000	273,700,456	△ 30,660,456
国庫補助金収入	27,940,000	35,716,000	△ 7,776,000
地方公共団体補助金収入	215,100,000	237,984,456	△ 22,884,456
資産売却収入	503,500,000	1,103,159,713	△ 599,659,713
付随事業・収益事業収入	75,720,000	72,110,396	3,609,604
受取利息・配当金収入	42,000,000	125,974,571	△ 83,974,571
雑収入	28,210,000	33,016,670	△ 4,806,670
借入金等収入	1,000,000	250,000	750,000
前受金収入	431,290,000	302,900,500	128,389,500
その他の収入	560,000,000	533,037,035	26,962,965
資金収入調整勘定	△ 404,750,000	△ 439,094,129	34,344,129
前年度繰越支払資金	5,751,000,000	5,751,711,863	△ 711,863
収入の部合計	8,906,630,000	9,380,300,719	△ 473,670,719
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,137,370,000	1,121,303,594	16,066,406
教育研究経費支出	352,280,000	347,750,547	4,529,453
管理経費支出	94,970,000	86,303,230	8,666,770
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	600,000,000	428,343,128	171,656,872
設備関係支出	23,050,000	53,771,220	△ 30,721,220
資金運用支出	500,000,000	1,352,968,198	△ 852,968,198
その他の支出	503,000,000	490,041,245	12,958,755
予備費	0	0	0
資金支出調整勘定	△ 111,000,000	△ 76,768,108	△ 34,231,892
翌年度繰越支払資金	5,806,960,000	5,576,587,665	230,372,335
支出の部合計	8,906,630,000	9,380,300,719	△ 473,670,719

注記：資金収支計算書は、学校法人会計基準の様式に基づく表示区分としています。

活動区分資金収支計算書

令和4年 4月 1日から

令和5年 3月31日まで

(単位：円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学校生徒等納付金収入	1,604,374,800
		手数料収入	18,093,844
		経常費等補助金収入	273,700,456
		付随事業収入	72,110,396
		雑収入	33,016,670
		教育活動資金収入計	2,001,296,166
	支出	人件費支出	1,121,303,594
		教育研究経費支出	347,750,547
		管理経費支出	86,303,230
		教育活動資金支出計	1,555,357,371
	差引	445,938,795	
	調整勘定等	△ 104,925,984	
	教育活動資金収支差額	341,012,811	
		科 目	金 額
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	1,065,000
		施設設備売却収入	9,713
		第2号基本金引当特定資産取崩収入	100,000,000
		施設整備等活動資金収入計	101,074,713
	支出	施設関係支出	428,343,128
		設備関係支出	53,771,220
		施設整備等活動資金支出計	482,114,348
		差引	△ 381,039,635
	調整勘定等	3,130,832	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 377,908,803	
	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 36,895,992	
		科 目	金 額
その他の活動による資金収支	収入	借入金等収入	250,000
		有価証券売却収入	1,100,000,000
		投資信託特別分配金収入	3,150,000
		預り金受入収入	344,946,811
		立替金回収収入	16,984
		小計	1,448,363,795
		受取利息・配当金収入	125,974,571
		その他の活動資金収入 計	1,574,338,366
	支出	有価証券購入支出	1,352,968,198
		長期貸付金支払支出	250,000
		預り金支払支出	355,225,204
		立替金支払支出	82,118
		高等学校就学支援預り金支出	63,000
		修学旅行積立金預り金支出	3,978,052
小計	1,712,566,572		
その他の活動資金支出 計	1,712,566,572		
	差引	△ 138,228,206	
	調整勘定等	0	
	その他の活動資金収支差額	△ 138,228,206	
	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 175,124,198	
	前年度繰越支払資金	5,751,711,863	
	翌年度繰越支払資金	5,576,587,665	

注記：活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の様式に基づく表示区分としています。

事業活動収支計算書

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

(単位 円)

教育活動資金収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		学生生徒等納付金	1,649,210,000	1,604,374,800	44,835,200
		手数料	25,400,000	18,093,844	7,306,156
		寄付金	0	0	0
		経常費等補助金	243,040,000	273,700,456	△ 30,660,456
		付随事業収入	75,870,000	72,110,396	3,759,604
		雑収入	28,210,000	39,469,314	△ 11,259,314
		教育活動収入計	2,021,730,000	2,007,748,810	13,981,190
教育活動資金収支	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	1,138,570,000	1,121,371,311	17,198,689
		教育研究経費	627,280,000	601,961,840	25,318,160
		管理経費	112,230,000	102,908,305	9,321,695
		徴収不能額等	5,000,000	19,716,000	△ 14,716,000
		教育活動支出計	1,883,080,000	1,845,957,456	37,122,544
		教育活動収支差額	138,650,000	161,791,354	△ 23,141,354

教育活動外収支	事業収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	42,000,000	125,974,571	△ 83,974,571
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	42,000,000	125,974,571	△ 83,974,571
教育活動外収支	事業支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
		教育活動外収支差額	42,000,000	125,974,571	△ 83,974,571
		経常収支差額	180,650,000	287,765,925	△ 107,115,925

特別収支	事業収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	112,240,000	△ 112,240,000
		その他の特別収入	1,010,000	1,065,000	△ 55,000
		特別収入計	1,010,000	113,305,000	△ 112,295,000
特別収支	事業支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	50,000	347,120	△ 297,120
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	50,000	347,120	△ 297,120
		特別収支差額	960,000	112,957,880	△ 111,997,880

[予備費]	0		0
基本金組入前当年度収支差額	181,610,000	400,723,805	△ 219,113,805
基本金組入額合計	△ 644,500,000	△ 432,095,380	△ 212,404,620
当年度収支差額	△ 462,890,000	△ 31,371,575	△ 431,518,425
前年度繰越収支差額	△ 1,003,000,000	△ 1,003,485,638	485,638
基本金取崩額	100,000,000	100,000,000	0
翌年度繰越収支差額	△ 1,365,890,000	△ 934,857,213	△ 431,032,787

[参考]

事業活動収入計	2,064,740,000	2,247,028,381	△ 182,288,381
事業活動支出計	1,883,130,000	1,846,304,576	36,825,424

注記：事業活動収支計算書は、学校法人会計基準の様式に基づく表示区分としています。

# 財 産 目 録

令和5年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	摘 要	金 額
I 資 産 の 部		23,437,272,043
1 固 定 資 産		16,756,994,080
有形固定資産		12,775,934,066
(1) 土 地	123,606.75 m <sup>2</sup>	8,616,145,400
(2) 建 物	45,520.80 m <sup>2</sup>	2,982,272,414
(3) 構 築 物	211 点	431,218,545
(4) 図 書	101,049 冊	250,296,686
(5) 機器備品およびその他		496,001,021
特 定 資 産		2,235,000,000
その他の固定資産		1,746,060,014
2 流 動 資 産		6,680,277,963
(1) 現 金 預 金		5,576,587,665
(2) 有 価 証 券		1,048,248,891
(3) そ の 他		55,441,407
II 負 債 の 部		578,585,527
1 固 定 負 債		158,922,571
(1) 退職給与引当金		140,338,774
(2) 長期借入金		500,000
(3) 長期未払金		18,083,797
2 流 動 負 債		419,662,956
(1) 1年以内返済予定長期借入金		250,000
(2) 未 払 金		77,917,355
(3) 前 受 金		302,915,875
(4) 預 り 金		32,256,805
(5) 修学旅行預り金		6,322,921
III 正 味 財 産		22,858,686,516



# 監 査 報 告 書

令和5年5月25日

学校法人 松 蔭 学 園

理 事 会 御中

評 議 員 会 御中

監 事 池本 正孝

監 事 小林 裕和

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人松蔭学園の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査をおこなった。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以 上